

■ 農作物の生育状況と今後の対策等（9月11日現在）

令和5年9月12日

三八地域県民局地域農林水産部農業普及振興室

1 水稲

(1) 成熟期における稈長、穂長、穂数

「まっしぐら」の生育は、稈長、穂長、 m^2 当たり穂数は平年を上回った。

「つがるロマン」の生育は、稈長は平年を下回ったが、穂長、 m^2 当たり穂数は平年を上回った。

表1 水稲生育観測ほの生育データ

品 種	市町村名	調 査 点	出穂期 (月日)		成熟期の生育状況							
					稈 長 (cm)		穂 長 (cm)		穂 数 (本)		穂 数 (本/ m^2)	
			本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
まっしぐら	八戸市	市川	7月30日	8月7日	81.0	76.2	17.9	17.4	23.0	20.2	454	407
	五戸町	根前	7月30日	8月3日	80.2	77.0	19.6	17.7	15.3	17.5	350	397
つがるロマン	田子町	田子	7月31日	8月4日	80.3	78.2	17.7	17.2	19.3	15.7	474	363
管内平均	まっしぐら(8地点)		7月29日	8月4日	80.3	77.2	18.4	17.6	19.4	18.3	397	388
	つがるロマン(3地点)		8月1日	8月4日	77.9	80.7	18.6	17.8	19.2	17.1	408	365
<参考>												
はれわたり	八戸市	南郷	7月24日		81.9		15.8		27.1		504	
	三戸町	貝守	7月27日		71.9		16.1		21.2		399	
	南部町	苫米地	7月30日		88.6		16.9		22.5		423	

(2) 刈取適期

刈取適期である積算気温 960°C 到達日は、「まっしぐら」では7月30日の出穂期（管内平均）で9月4日となった。刈取りは、籾の黄化程度を確認する等総合的な判断をして行う。

表2 水稲の出穂日別積算気温到達日（八戸アメダスデータを使用）

積算気温	出穂期						
	7/28	7/29	7/30	7/31	8/ 1	8/ 2	8/ 3
960°C 到達日	9/ 1	9/ 3	9/ 4	9/ 5	9/ 6	9/ 7	9/ 8
$1,200^{\circ}\text{C}$ 到達日	9/11	9/12	9/13	9/15	9/16	9/18	9/19

※9月10日までは本年値、9月11日以降は平年値を使用

(3) 登熟状況

9月1日現在の県生育観測ほの登熟状況は、八戸市市川の「まっしぐら」が69.3%で平年より35.6ポイント高く、五戸町根前の「まっしぐら」が64.9%で平年より11.9ポイント高かった。

また、田子町田子の「つがるロマン」は69.1%で平年より12.7ポイント高い。「はれわたり」の登熟も順調である。

表3 登熟調査結果

品 種	市町村名	設置場所	出穂日		1穂籾数(粒)		㎡籾数(百粒)		登熟歩合(%)	
			本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
まっしぐら	八戸市	市川	7月30日	8月7日	83.5	80.8	379	328	69.3	33.7
まっしぐら	五戸町	根前	7月30日	8月3日	93.7	87.6	328	347	64.9	53.0
つがるロマン	田子町	向山	7月31日	8月4日	88.4	79.2	418	288	69.1	56.4
管内平均	まっしぐら(8地点)		7月29日	8月4日	84.7	83.8	336	325	77.0	50.7
	つがるロマン(3地点)		8月1日	8月4日	89.7	83.9	367	306	70.5	54.6
〈参考〉										
はれわたり	八戸市	島守	7月24日		56.5		285		91.2	
	三戸町	貝守	7月27日		70.9		283		94.8	
	南部町	苫米地	7月30日		79.8		337		83.0	

※はれわたり（八戸市島守）は8月30日調査

(4) 令和5年産水稻の8月15日現在における作柄概況について

東北農政局が8月31日に発表した青森県の概況は、県全体で「平年並み」であった。

(5) 今後の対策等

刈り遅れにより、白未熟粒や胴割粒等の発生による品質低下が懸念されるため、籾の黄化程度等を見極めて、適期に入ったら速やかに刈り終えるようにする。

2 野菜

(1) ながいも

ア 生育の状況

いも長は平年をかなり上回り、いも重は平年をかなり下回り、いも径は平年を大幅に下回った。

茎葉の生育量は確保されているものの、梅雨明け以降の高温・乾燥のため、いもの形状が平年より細長くなったと考えられる。

病害は、葉渋病が下位葉を中心に発生しており、虫害はほとんど見られなかった。

表4 ながいもの生育観測ほの生育状況（9月11日現在）

年 度	植付期 (月日)	7月10日現在 (本年調査日:7月10日)			8月10日現在 (本年調査日:8月10日)			9月10日現在 (本年調査日:9月11日)		
		いも長	いも重	いも径	いも長	いも重	いも径	いも長	いも重	いも径
		(cm)	(g)	(mm)	(cm)	(g)	(mm)	(cm)	(g)	(mm)
本 年	5/2	16.7	7.3	7.6	52.3	232.3	36.4	88.3	927	52.7
(平年比)	-9	99%	86%	93%	113%	122%	100%	113%	94%	86%
平 年	5/11	16.9	8.5	8.2	46.1	190.9	36.3	78.3	991	61.3
前 年	5/8	14.8	6.0	7.1	43.8	235.5	41.4	81.3	1,041	62.2

※庄司系2年子・120～150g ガンク切除

イ 今後の対策等

- (ア) 葉渋病、炭疽病が見られる生産ほ場では、まん延防止のため防除を徹底する。
- (イ) 種子ほ場では、アブラムシ類の防除を徹底する。
- (ウ) 台風等で支柱が倒れたり、ネットごと茎葉がずり落ちた場合は可能な限り修復する。穴落ちが見られる場合も速やかに埋め戻す。

(2) にんにく

ア 植付け準備等

- (ア) 10月10日までに植付けできるよう、ほ場準備等は計画的に進める。
- (イ) 使用する種子はイモグサレセンチュウやチューリップサビダニの寄生がないものとする。
- (ウ) 種こぼしは可能な限り植付けの直前に行い、種子消毒を実施する。
- (エ) イモグサレセンチュウの発生を確認したほ場では、土壌消毒等の体系的な防除対策を実施する。
- (オ) 種子ほ場では、アブラムシ類によるウイルス感染を防ぐため、萌芽揃

いから降雪前に、アブラムシ類に登録のある薬剤を散布する。

(3) トマト

ア 生育の状況

生育観測ほでは、11段目の開花が9月1日で、平年より1日早かった。現在8～9段目を収穫中である。

8月第3半旬を除き、8月第4半旬～9月第2半旬までの高温により10段目までの各段で落花が見られる。

病害は、灰色かび病と葉かび病の発生が見られる。虫害は、タバコガ類による果実及び茎葉被害が見られる。

一般ほ場でも高温の影響で、落花や尻腐れ症状、裂果が多く見られ、着色が早く小玉傾向となっている。

病害は、灰色かび病、葉かび病、うどんこ病の発生が見られる。

虫害は、タバコガ類の他、一部でアザミウマ類やコナジラミ類の発生が見られる。

表5 トマトの生育観測ほの生育状況（9月11日現在）

年度	定植時				着果状況								収穫期		収量 (kg/10a)
	品種名		定植期 (月日)	育苗・活着状況	1段花房		7段花房		9段花房		11段花房		始め (月日)	終わり (月日)	
	穂木	台木			開花期 (月日)	着果数 (個)	開花期 (月日)	着果数 (個)	開花期 (月日)	着果数 (個)	開花期 (月日)	着果数 (個)			
本年 (平年比)	りんか409	自根	5/10 (4日早)	良好	5/17 (10日早)	4.3 11%	7/20 (2日早)	3.3 14%	8/9 (2日早)	0.5 25%	9/1 (1日早)		7/1 (9日早)		
平年	りんか409	自根	5/14		5/27	3.8	7/22	2.3	8/11	2.0	9/2	1.5	7/10	10/25	7,113
前年	りんか409	自根	5/10	良好	5/24	4.2	7/23	3.4	8/11	2.4	9/5	2.4	7/7	11/7	8,100
備考	※栽植様式：畦幅200cm、株間40cm、条間60cm、2条、黒マルチ栽培 ※栽植株数：1,360株/10a（開口7.2m、奥行き36mの80坪ハウス1棟あたり516本） ※開花日：ホルモン処理実施日（プロワー処理なし） ※平年（H20～R4）														

イ 今後の対策等

- (ア) 裂果の発生を防ぐため、天候に合わせたかん水や葉かきを行う。
- (イ) 収穫終了日に合わせ、9月中旬頃までに摘芯を行う。
- (ウ) 病害虫の発生に留意し、適期防除に努める。